

## 令和8年度首里城正殿完成記念事業運営支援等委託業務の企画提案に係る募集要項

本公募は、県の本予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続きであり、予算成立後に効力が生じるものです。

県議会において予算案が否決された場合には契約を締結しないことがありますので、予めご了承ください。

### 1. 業務概要

- (1) 業務名 : 令和8年度首里城正殿完成記念事業運営支援等委託業務
- (2) 業務目的 : 令和8年秋の首里城正殿完成を首里城復興の大きな節目と捉え、正殿の復元のみならず首里城に象徴される沖縄の歴史・文化を含めた“沖縄の魅力”を国内外に発信し、その価値を高めていきながら次世代へ継承できるよう「首里城正殿完成記念事業（以下、「記念事業」という。）」として、県、那覇市、首里城公園管理者等において様々な事業を実施することから、記念事業の実施に係る運営支援を行う。また、正殿完成の時期に併せて、祝賀会を開催する。
- (3) 業務内容 : 別添「令和8年度首里城正殿完成記念事業運営支援等委託業務 企画提案仕様書」による。
- (4) 履行期間 : 契約締結日から令和9年3月31日まで
- (5) 契約限度額 : 102,850,000円（税込）
- (6) 本業務は、受託者を特定する場合において、一定の条件をみたす者を公募により選定し、当該業務に係る実施方針、実施体制、企画提案等に関する提案書（以下「企画提案書」という。）の提出を求め、企画書の内容が業務の履行に最も適した者を受託者とするプロポーザル方式の業務である。

### 2. 応募資格

次に掲げる要件をすべて満たすものであること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当していないこと。  
（注）地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項  
普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者を参加させることができない。
- (2) 会社更生法（昭和14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申し立てをした者にあつては更生計画の認可がされていない者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申し立てをした者にあつては再生計画の認可がなされていない者ではないこと。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第1項第2号に掲げる暴力団及びそれらの利益となる活動を行う団体ではないこと。
- (4) 役員等（法人の場合は、役員及び経営に事実上参加している者、法人格のない団体にあつてはその代表者及び経営に事実上参加している者をいう。以下同じ。）が、暴力団等の利益となる活動を行う団体ではないこと。
- (5) 過去5年間に国（独立行政法人、公社及び公団を含む。）、地方公共団体又は公共的団体（地方自治法第157条に規定される「公共的団体」）のイベント運営業務を複数回受託した実績がある

こと。

- (6) 本業委託業務に従事する正・副計2名以上の担当者を割り当てること。従事する正・副の担当者は、過去5年間に国（独立行政法人、公社及び公団を含む。）、地方公共団体又は公共的団体のイベント運営業務を複数回担当し完了した実績があること。
- (7) 当該業務の見積額が契約限度額以内であること。
- (8) 応募は単独に限らず共同企業体でも可とする。単独で応募する場合は沖縄県内に本店又は支店を有する法人であること。共同企業体で応募する場合は、共同企業体を構成する事業者のいずれかが、沖縄県内に本店又は支店を有する法人であること。  
共同企業体の場合の要件は以下のとおりとする
  - ① 共同企業体を代表する事業者が応募を行う。
  - ② 共同企業体を構成する全ての構成員が（1）～（4）の要件を満たす者であること。
  - ③ 共同企業体の代表構成員が（5）の要件を満たす者であること。
  - ④ 共同企業体を構成する事業者全体で（6）の要件を満たす者であること。

### 3. 応募方法等

- (1) オンライン説明会（ZOOMを使用）※参加は任意であり、応募要件ではありません。
  - ア 開催日時：令和8年3月18日（水）15：00-16：00
  - イ 申込期限：令和8年3月17日（火）17：00
  - ウ 申込方法：
    - ① 参加を希望される方は、上記参加申込期限までに、オンライン説明会参加申込メールアドレス（aa068501@pref.okinawa.lg.jp）宛てに、以下の申込事項をお送りください。
      - ・メール件名に「令和8年度首里城正殿完成記念事業運営支援等 委託業務公募オンライン説明会参加申込」と記載してください。
      - ・メール本文に、所属・担当者氏名・メールアドレス・電話番号を記載の上、送信してください。
    - ② 送信されたメールアドレス宛て、上記アドレスから委託公募オンライン説明会に参加するためのURLを送信します。
    - ③ 説明会当日は、送信したURLにアクセスして参加します。
- ※質問の回答については、後日、県ホームページに掲載します。
- (2) 質問事項について  
質問事項がある場合は、質問票【様式5】をFAX又はメールで提出すること（受信確認必要）。  
質問の回答については県ホームページに掲載します。  
質問受付期間：公告の日から令和8年3月19日（木）12:00まで
- (3) 企画提案への参加申込
  - ア 申込期限：令和8年3月24日（火）17：00
  - イ 提出書類：参加申込書【様式1】、会社概要【様式3】、過去の業務実績一覧【様式3-2】、業務担当者の過去の業務実績一覧【様式3-3】、共同企業体協定書（共同企業体による応募の場合のみ）【様式4】、誓約書【様式6】
  - ウ 提出方法：持参、郵送（到着確認が可能な手段で、申込期限必着）、FAX又はメール（受信確認をしてください。）  
※共同企業体での応募の場合は、代表事業者が申し込みを行うこと。
- (4) 一次審査について  
原則として、企画提案への参加申込の書面一式により過去の業務実績等の一次審査を行い、選定

委員会にて参加者を選定するものとする。

※一次審査において選定された選定委員会への参加者には、令和8年3月27日（金）までに通知を行うものとする。

(5) 企画提案書の提出

ア 提出期限：令和8年4月2日（木）17：00

イ 提出書類：提出書類は、「5. 提出書類」のとおりとする。

ウ 提出方法：持参、郵送(到着確認が可能な手段で、提出期限必着)

エ 提出部数：企画書6部

#### 4. 企画提案書の選定に関する事項

(1) 企画提案書の内容

企画提案書は5. 提出書類の(2)のとおりとする。

(2) 受託者候補者選定について

「沖縄県土木建築部首里城復興課業務委託に係る企画提案選定委員会」（以下「選定委員会」という。）にて、企画提案書（応募者によるプレゼンテーションを含む。）の審査を行い、受託候補者を選定する。

#### 5. 提出書類

(1) 企画提案応募申請書【様式2】

(2) 企画提案書（A4版縦横自由）

企画提案書の記載に当たっては、提案内容の理解を容易にするためにイラスト、イメージ図等を使用し、次の各項目の記述を必須とする。

ア 業務の実施及び提案内容（審査基準①～⑤）

※審査基準①～⑤の項目毎に記載し、10頁以内におさめること。

イ 見積 ※様式任意

提案にあたっては、総額102,850,000円（税込）の範囲内で見積もること。ただし、この金額は企画提案のために設定した金額であり、実際の契約金額とは異なる。

積算の費目は次の内容で作成すること。

①直接人件費

②直接経費

③再委託費（契約書案第9条に基づく）

④一般管理費（（直接人件費＋直接経費《－再委託費》）×10%以内）

⑤消費税

⑥その他（上述の費目以外の必要な経費を随時追加）

※各種費目の単価、内訳及び金額の根拠を記載すること。

#### 6. 企画提案選定委員会

(1) 予 定 日：令和8年4月10日（金）（午後予定）

(2) 実施方法：応募者によるプレゼンテーション（県庁会議室での実施）

応募者は企画提案書により説明を15分程度行い、その後質疑応答を10分程度行うものとする。説明は、事前に提出した資料を用いて説明すること（追加資料の使用は認めない）。

(3) 審査結果の通知：令和8年4月13日（月）（予定）応募者あて最上位者名を通知

(4) 委託契約の締結時期：令和8年4月4週目（予定）

## 7. 選定及び審査基準

### (1) 選定方法

受託候補者の選定は次のとおり行うものとする。

#### ① 適合審査

参加申込書及び企画提案書の提出後、選定委員会において、応募者の資格要件の適否審査を行う。資格を満たさない場合又は確認できない場合は、その時点で失格とする。

#### ② 企画提案選定委員会

選定委員会において、適合審査を通過した応募者の企画提案書およびプレゼンテーションの審査を行う。なお、委員会における点数が50点未満の場合は選定しないものとする。

### (2) 審査基準

次の6項目全てを評価する総合評価方式により選考する。

#### ① 業務執行に係る実施体制及びスケジュールについて

配点・・・40点	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務執行にあたり、実施体制は適正か。【10点】</li><li>・担当者が当該業務に迅速に対応できるよう、適切に人員を配置しているか。（責任者1名以上の配置、円滑に業務実施が可能な人員配置か）【10点】</li><li>・準備を含めたスケジュールは適正かつ実効性があるか。【10点】</li><li>・過去に類似のイベント運営業務の実績があるか。【10点】</li></ul>
----------	---

#### ② (1) 首里城正殿完成記念事業 運営支援業務

配点・・・20点	<ul style="list-style-type: none"><li>・推進連絡会及び幹事会の運営サポート業務は効果的な提案か。【5点】</li><li>・総合窓口及び首里城公園内でのイベント支援業務は効果的な提案か。また繁忙期の対応案も適正か。【10点】</li><li>・タイトル・ロゴマークの選定方法、応援事業の募集方法も効果的な提案か。【5点】</li></ul>
----------	---

#### ③ (2) 広報及び広報ツールの作成等

配点・・・15点	<ul style="list-style-type: none"><li>・特設サイトの構成、内容等は魅力的な提案か。【5点】</li><li>・記念事業の広報及びWeb上の閲覧が困難な方向けの広報は効果的か。【5点】</li><li>・ポスターやチラシ、グッズ等は魅力的な提案か。【5点】</li></ul>
----------	--

#### ④ (3) 首里城正殿完成祝賀会の開催

配点・・・15点	<ul style="list-style-type: none"><li>・祝賀会のプログラム案は、業務目的に合致した効果的な提案か。【15点】</li></ul>
----------	---

#### ⑤ (4) 記念誌の作成、(5) 首里城正殿完成記念事業の実績取りまとめ・効果検証等

配点・・・5点	・記念誌の構成・内容等は魅力的な提案か。また記念事業の効果検証は、優れた提案か。【5点】
---------	--

#### ⑥ 業務執行に係る予算について

配点・・・5点	・予算見積書は正確且つ透明性があり、経済的合理性が高いか。【5点】
---------	-----------------------------------

### 8. その他

- (1) 企画提案に要する経費、企画提案選定委員会に参加する経費などについては、参加者の負担とする。
- (2) 企画提案書など提出された書類等は返却しない。また、提出された参加申込書及び企画提案書は、選定以外に企画提案者に無断で使用しない。なお、提出された参加申込書及び企画提案書は公開しない。
- (3) 選定に関する審査内容及び経過などについては公表しない。
- (4) 1事業者（1共同企業体）当たり、提案は1件とする。
- (5) 募集要項に適合しない応募は無効とする。
- (6) 事務取扱については、沖縄県の休日を定める条例(平成3年沖縄県条例第15号)第1条第1項に規定する県の休日を除く、9時から17時までとする。
- (7) 契約を結ぼうとする者は、沖縄県財務規則第101条及び契約書の定めるところにより、契約保証金を納めなければならない。ただし、沖縄県財務規則第101条第2項の各号のいずれかに該当する場合は、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することができる。

#### ※契約保証金について（抜粋）

- 第101条 地方自治法施行令第167条の16第1項の規定による契約保証金の率は、契約金額の100分の10以上とする。
- 2 前項の契約保証金は、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その全部又は一部の納付を免除することができる。
- (1) 契約の相手が保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。
  - (2) 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第100条の3第2号の規定により財務大臣が指定する金融機関と工事履行保証契約を締結したとき。
  - (3) 地方自治法施行令第167条の5及び地方自治法施行令第167条の11に規定する資格を有する者と契約を締結する場合において、その者が過去2箇年間に国（独立行政法人、公社及び公団を含む。）又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上にわたって締結し、これらをすべて誠実に履行し、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。
  - (4) 法令に基づき延納が認められるときにおいて確実な担保が提供されるとき。
  - (5) 物品を売り払う契約を締結する場合において、売払代金が即納されるとき。
  - (6) 随意契約を締結する場合において、契約金額が小額であり、かつ、契約の相手方が契約を履行しないこととなるおそれがないとき。
- (8) 企画提案書に記載した担当者等は、原則として変更できない。ただし、病休、死亡、退職等のやむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の経験、見識を持つ者とし、発注者の了解を得なければならない。
  - (9) 現場条件の変更、天災等、受注者の責に帰さない事由により、企画提案書に影響を及ぼす場合は、

現場の状況により必要に応じ協議して定めるものとする。

(10) 参加資格の喪失

本公告に示した参加資格のない者の評価又は参加申込書、企画提案書及びその他提出書類に虚偽の記載をした者の評価は無効とするとともに、失格とする。

なお、提案後、指名停止措置を受け受託者の決定時において指名停止期間中である者の評価も無効とする。

(11) 契約等の手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(12) 業務委託契約額の考え方について

当該事業は、発生経費に変動があり得る事業のため 102,850,000 円を上限に概算契約を行います。実績報告をもって額の確定を行い、実績に応じて精算します。

※確定検査等への円滑な対応のため、支出関連書類を整理・保存しておいて下さい。

## 9. 提出、問い合わせ先

沖縄県土木建築部首里城復興課 企画班 外間みか

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL : 098-943-0140 FAX : 098-862-3825

e-mail : aa068501@pref.okinawa.lg.jp